



「JALふるさとプロジェクト」の 取り組みについて



JAPAN AIRLINES

日本航空 札幌地区販売部

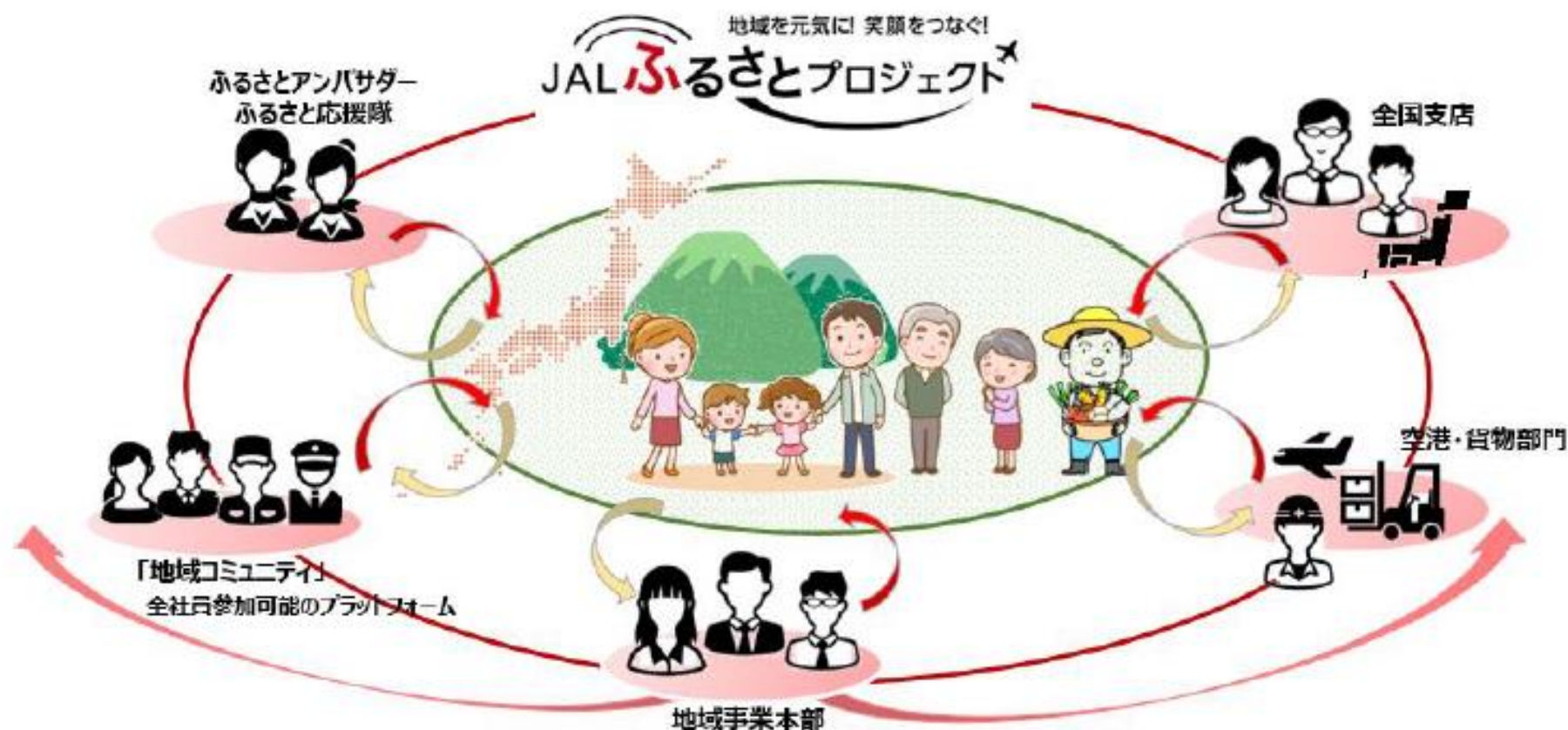
2021年10月13日

「JALふるさとプロジェクト」の取り組みについて

1. 「JALふるさとプロジェクト」の概要
2. 「JALふるさとアンバサダー」について
3. 「JALふるさと応援隊」について
4. 「JALふるさとアンバサダー」と
「JALふるさと応援隊」の活動について

1. 「JALふるさとプロジェクト」の概要①

社会環境が変化し、地域が抱える課題が多様化してきた現在、「ヒト・モノ・地域」をつなぐ航空会社として、地域に寄り添い、ふるさとへの想いを持つ全社員が一丸となって地域の課題解決に取り組むための地域活性化活動「JALふるさとプロジェクト」を開始。



1. 「JALふるさとプロジェクト」の概要②

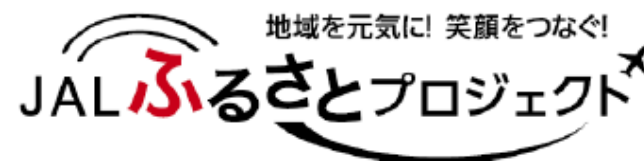
「JALふるさとプロジェクト」は、「全社員一丸」+「オリジナリティ」+「継続性」のキーワードのもと、これまでの地域活性化活動を担ってきた地域事業本部と全国支店に加えて、「ふるさとアンバサダー」「ふるさと応援隊」「空港・貨物部門」が参加します。

取り組みの一例としては

①観光資源の発掘 …… 「新しい旅のスタイル」に対応したコンテンツの創出や旅行商品造成で新たな需要を創出し交流人口の拡大に貢献します。

②地域産品の企画、提案 …… 客室乗務員をはじめとした、JALグループ社員の知見を活用し、地域の皆さまとともに地域産品を活かした商品開発等に取り組みます。

③人材育成支援 …… 客室乗務員が機内などで提供してきたサービスのなかで培ったおもてなしを体系化した人材育成プログラムを提案します。

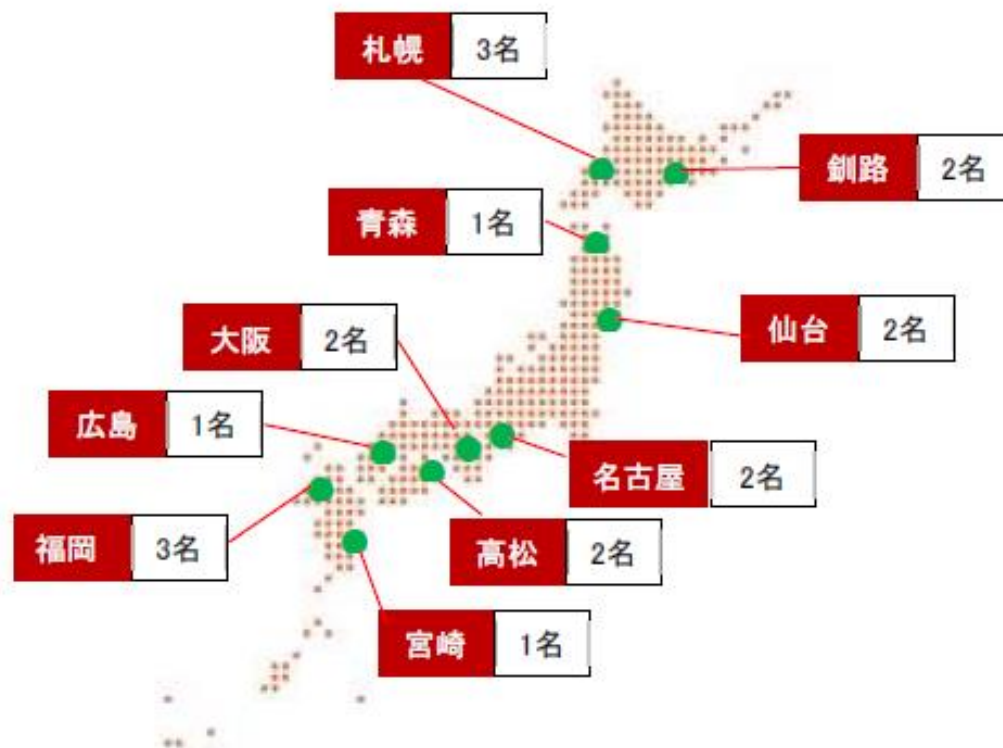


2. 「JALふるさとアンバサダー」について

2020年8月、地域の活性化のために仕事をしたいという想いを強く持つ社内公募で選ばれた現役の客室乗務員「JALふるさとアンバサダー」が活動を開始しました。

自身の故郷やゆかりのある地域に移住し、培ってきた知見を活かして、地域の皆さまとともに地域課題の解決に取り組めます。

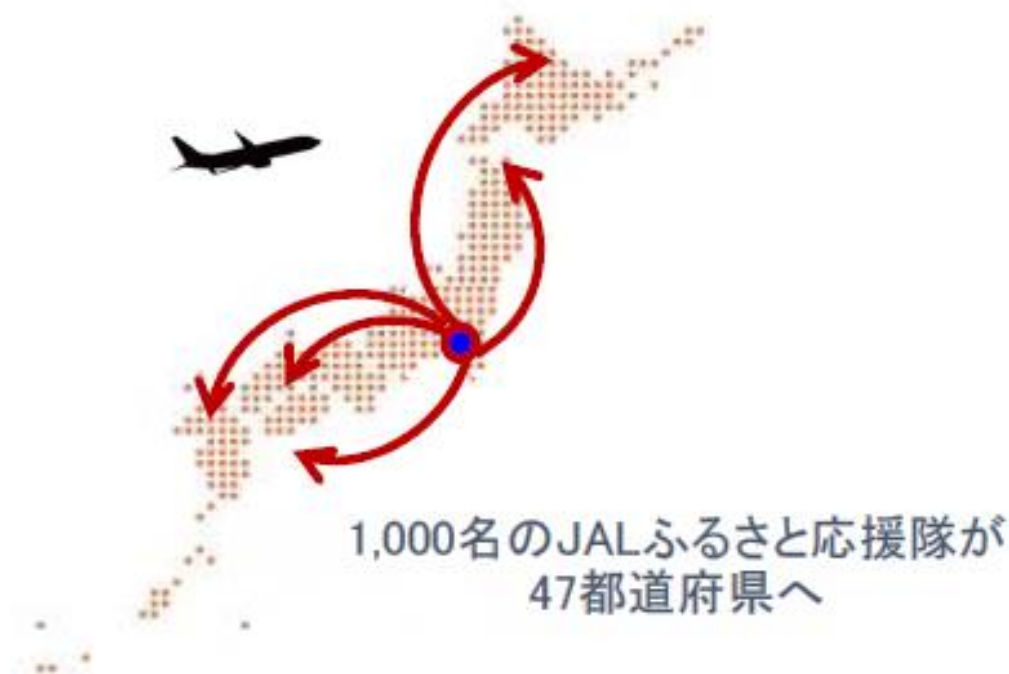
現在、全国10地域で19名の「JALふるさとアンバサダー」が活動、北海道では札幌に3名、釧路に2名合計5名がさまざまな地域活性化の取り組みを行っています。



3. 「JALふるさと応援隊」について

全国各地の活性化をきめ細やかに応援するため、社内公募で選ばれた現役の客室乗務員、総勢1,000名を2020年12月1日に「JALふるさと応援隊」として任命しました。地域イベントへの参加や地域活性化に資する活動への参加、地域のPRなど、地域の皆さまとの絆づくりや活性化活動を継続的に取り組んでいます。

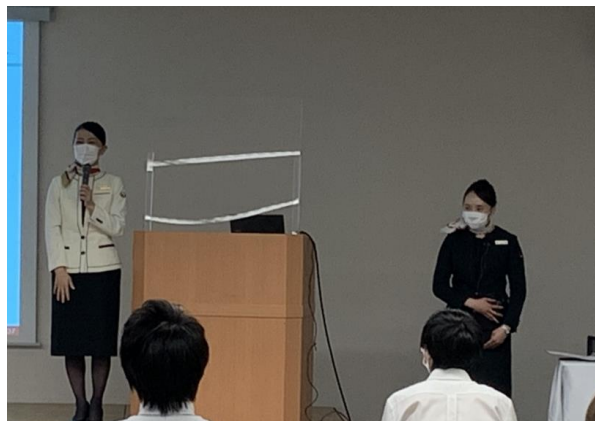
北海道の「JALふるさと応援隊」は約100名、札幌を含む全道の営業支店や「JALふるさとアンバサダー」と連携して活動しています。



4. 「JALふるさとアンバサダー」と「JALふるさと応援隊」の活動について

「JALふるさとアンバサダー」「JALふるさと応援隊」は全道各地で地域活性化の活動を行っています。

「JALふるさとアンバサダー」「JALふるさと応援隊」による「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」



↑「JALふるさとアンバサダー」によるマナー講座

↓「JALふるさと応援隊」の農作業支援



「JALふるさとプロジェクト」の取り組みについて

ご清聴ありがとうございました。